



2027年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2026年8月6日



目次

01	決算概要	P3
02	2027年3月期の見通し	P13
03	参考資料	P17



01 決算概要

02 2027年3月期の見通し

03 参考資料

2027年3月期第1四半期 決算サマリー

前期4月発売の新商品(LIVE DAM WAO!)発売効果が剥落したものの、
主要セグメントでやや想定を上回る堅調な推移

- 売上高は前期比1.5%増(過去最高)、営業利益は同17.6%増となり、売上・利益ともやや想定を上回る進捗

業務用カラオケ事業: DAM稼働台数は安定的に推移し、前期末比微増

商品販売の減少による減収も、ストック収入からの粗利増やプロモーション費用などの
販管費減少などにより増益

カラオケ・飲食店舗事業: 既存店前年比 (カラオケルーム)+2%、(飲食)+3%

出店費用の増加などにより増収、微減益

パーキング事業: 期末施設数 4,500施設 52,000車室 と堅調に増加

- 当期純利益は前期にあった固定資産売却益が剥落した影響により、前期比10.9%減
- 第1四半期の利益上振れを反映し、2027年3月期(上期/通期)業績予想を修正

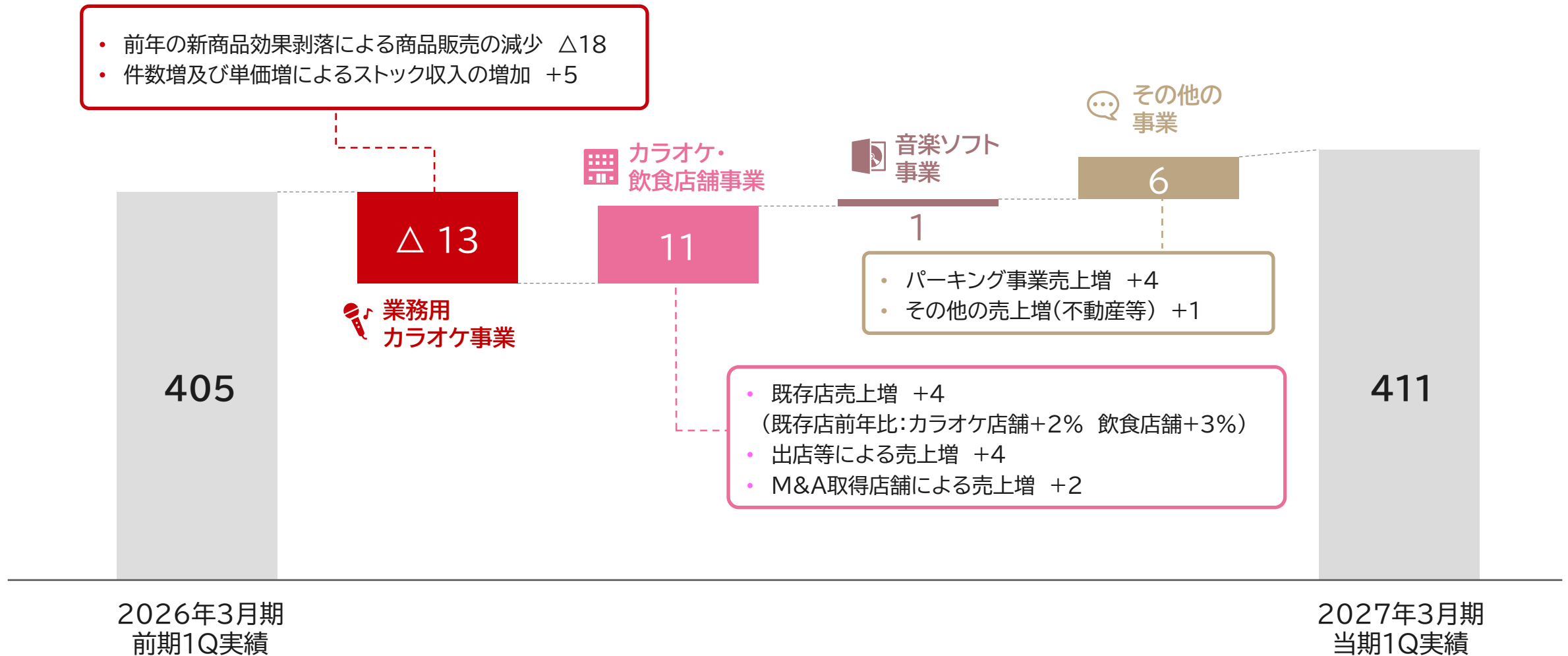
業績ハイライト

売上・利益の各項目においてやや業績予想を上回る進捗
売上高は第1四半期における過去最高

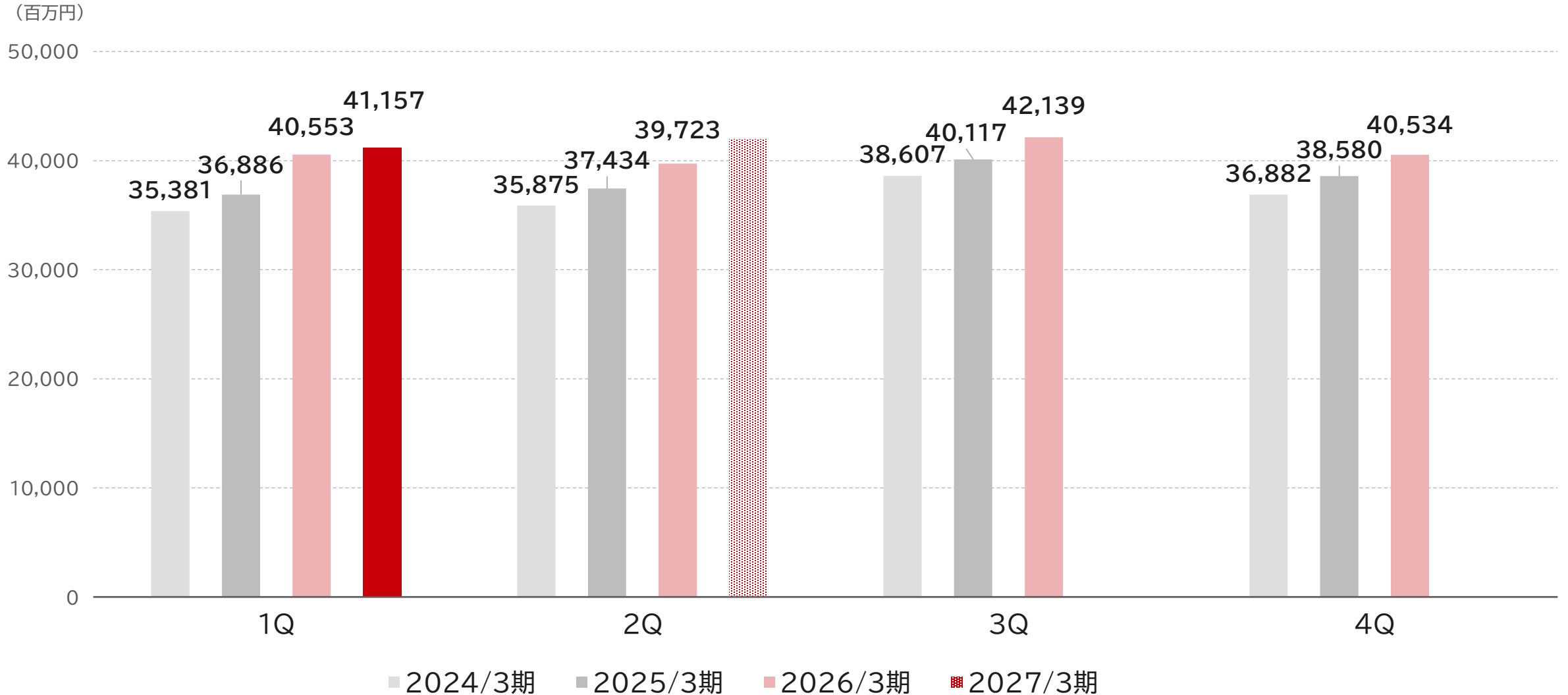
(単位:百万円)	2026/3期	当期 1 Q実績	通期業績予想 (当初予想)	2027/3期	
	前期 1 Q実績			前年同期比 (%)	進捗率 (%)
売上高	40,553	41,157	168,700	1.5	24.4
売上総利益	14,160	14,750	58,100	4.2	25.4
販売費及び一般管理費	9,914	9,759	39,600	△1.6	24.6
営業利益	4,245	4,991	18,500	17.6	27.0
経常利益	4,571	5,129	18,900	12.2	27.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,520	3,137	12,200	△10.9	25.7

売上高増減要因分析

(億円)

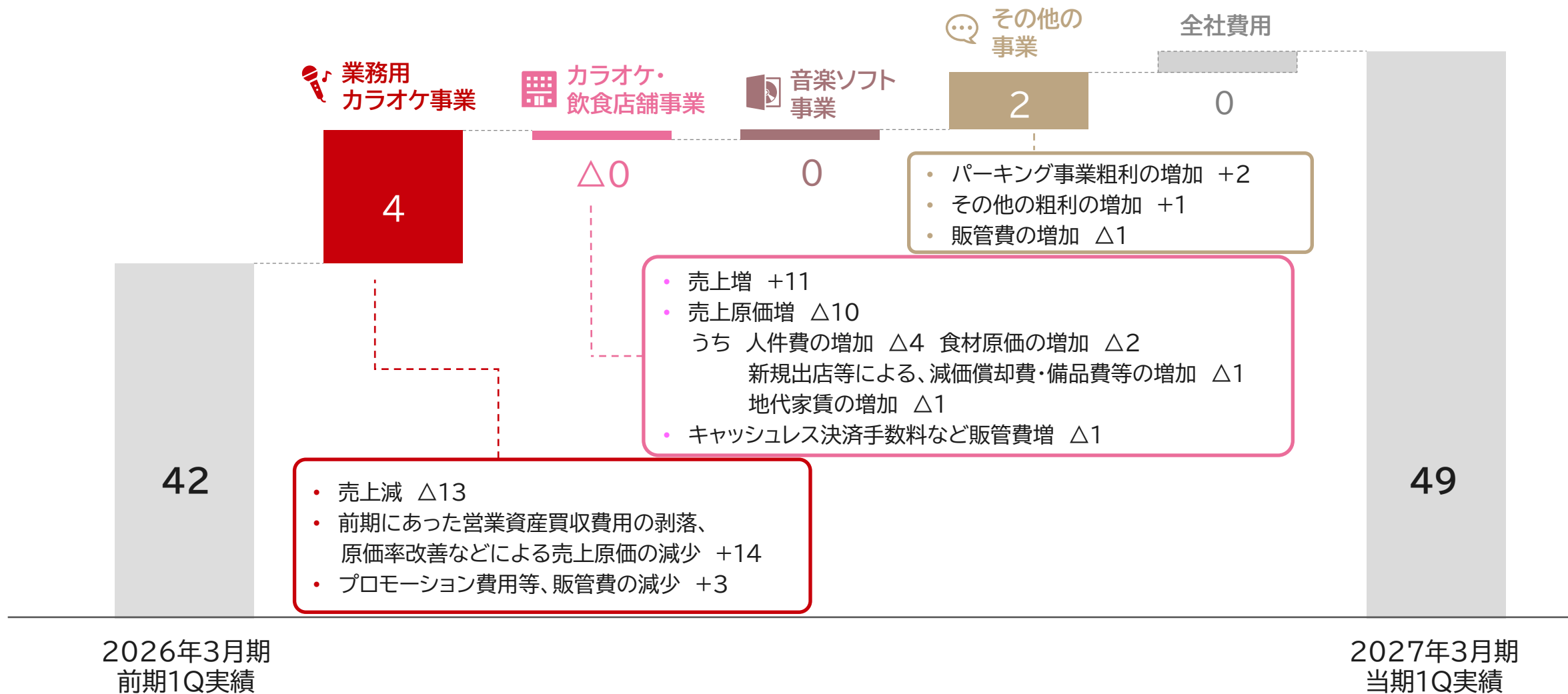


四半期別売上高推移



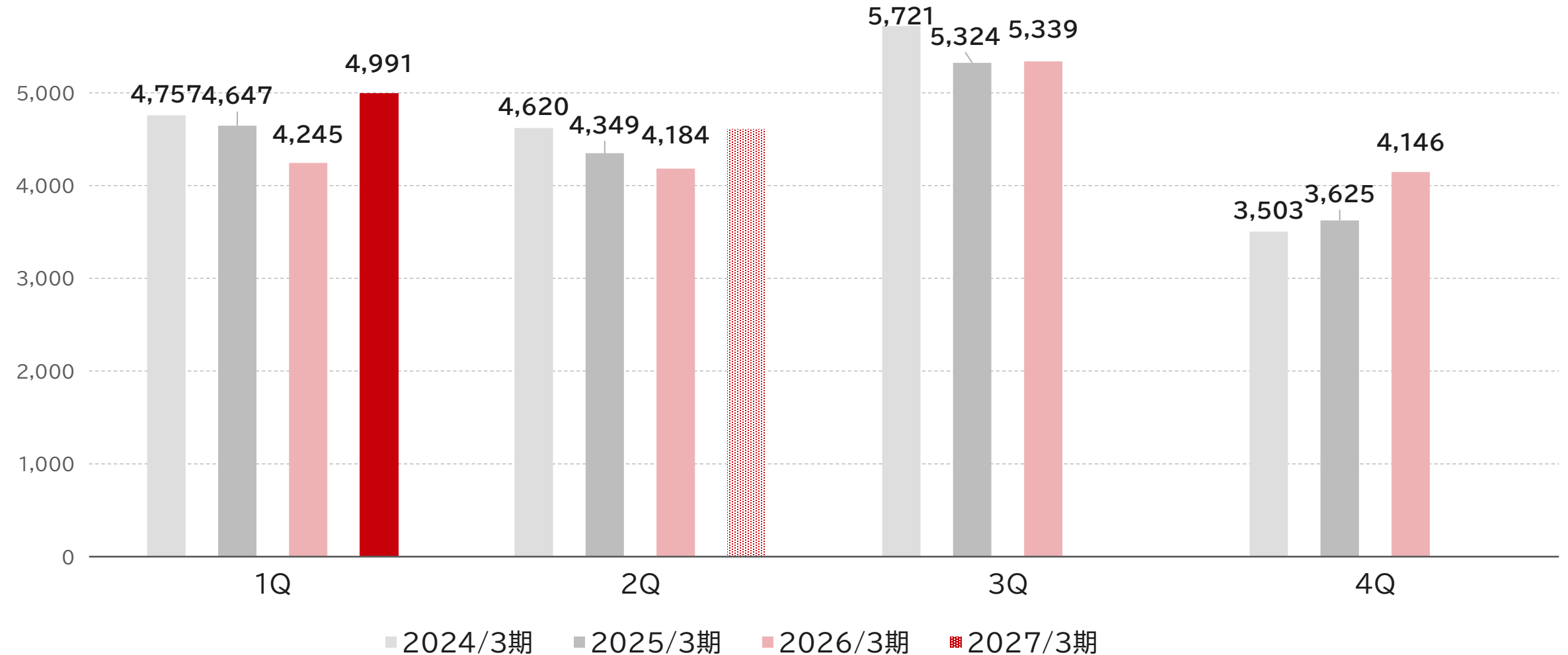
営業利益増減要因分析

(億円)



四半期別営業利益推移

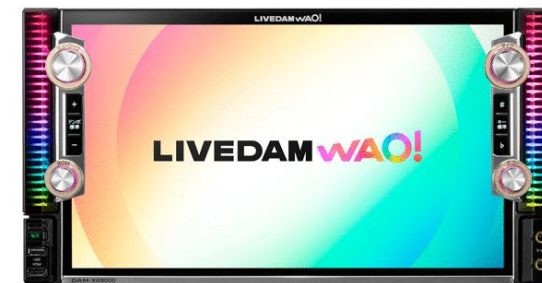
(百万円)



事業環境(業務用カラオケ)

事業環境

- ・ 成長市場であるエルダー市場を中心として底堅く推移、1Q末のDAM稼働台数は、前年同期比微増
- ・ 最上位モデルLIVE DAM WAO!(2025/4発売)の「本人映像」をさらに拡充
- ・ テレビ番組・イベント等とのタイアップを強化→カラオケ需要喚起・新機能/コンテンツ訴求
- ・ ナイト市場/カラオケボックス市場:効果的な機器入れ替え→DAM1台あたりの収入増
- ・ エルダー市場:大学等との共同研究→「歌うこと＝健康」という認知拡大



LIVEDAM WAO!

事業セグメント別のKPI



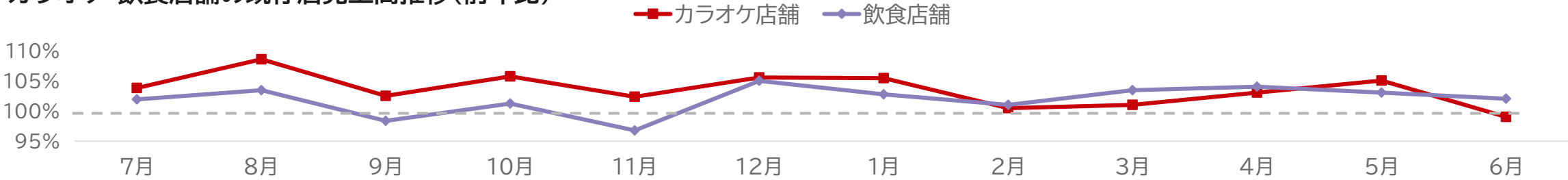
事業環境(カラオケ・飲食店舗事業)

事業環境

- 6月には台風の影響を受けるも、やや想定を上回る堅調な集客状況
→既存店売上高はカラオケ店舗+2%、飲食店舗+3%
- カラオケ店舗:機器・音響・美観の向上による顧客満足度向上、コラボ企画の展開
ダーツバー併設や荷物預かりサービスなど、好立地を生かす施策
- 飲食店舗:飲食/アミューズメント複合店舗「MARUNOUCHI BASE」などが収益に貢献

	出店	閉店	1Q末 店舗数
カラオケ	3	3	521
飲食	6	2	171

カラオケ・飲食店舗の既存店売上高推移(前年比)



	2026/3期									2027/3期		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
カラオケ店舗	104%	109%	102%	106%	102%	106%	105%	100%	101%	103%	105%	99%
飲食店舗	102%	103%	98%	101%	97%	105%	103%	101%	103%	104%	103%	102%

連結貸借対照表

期末配当金の支払い及び法人税の納付に伴い現預金が減少
自己資本比率は前期末比0.9%pt上昇

(単位:百万円)	2026年3月期		2027年3月期	
	前期末	当期1Q末	前期末比(%)	コメント
流動資産	77,209	70,861	△8.2%	現預金の減少
固定資産	143,235	145,099	1.3%	各事業資産、投資有価証券の増加
資産合計	220,445	215,961	△2.0%	
流動負債	27,351	23,398	△14.5%	未払金、未払法人税等の減少
固定負債	67,744	67,737	0.0%	
負債合計	95,096	91,136	△4.2%	
株主資本	122,263	121,369	△0.7%	
その他包括利益累計額	1,376	1,722	25.1%	
純資産合計	125,349	124,824	△0.4%	
負債・純資産合計	220,445	215,961	△2.0%	

01 決算概要



02 2027年3月期の見通し

03 参考資料

2027年3月期業績予想の修正

第1四半期実績が想定をやや上振れたことを反映し、業績予想を上方修正

(単位:百万円)	2027年3月期 中間期			2027年3月期 通期		
	当初予想	修正予想	差異(%)	当初予想	修正予想	差異(%)
売上高	82,800	83,100	0.4%	168,700	169,000	0.2%
営業利益	8,800	9,600	9.1%	18,500	19,300	4.3%
営業利益率(%)	10.6%	11.6%	+1.0pt	11.0%	11.4%	+0.4pt
経常利益	9,000	9,800	8.9%	18,900	19,700	4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,800	6,200	6.9%	12,200	12,600	3.3%

2027年3月期 セグメント別業績予想

※2026年8月6日付修正後



業務用カラオケ事業

- ナイト市場
- エルダー市場
- カラオケボックス市場

セグメント別売上高

65,750百万円 +0.7%

セグメント別営業利益

12,700百万円 +6.5%



音楽ソフト事業

セグメント別売上高

5,500百万円 +0.7%

セグメント別営業利益

330百万円 +135.1%



カラオケ・飲食店舗事業

セグメント別売上高

74,750百万円 +5.3%

セグメント別営業利益

6,700百万円 +1.0%



その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

セグメント別売上高

23,000百万円 +8.4%

セグメント別営業利益

3,000百万円 +6.7%



2027年3月期 セグメント別実施施策

※期初から特段の変更なし



業務用カラオケ事業

共通

- LIVE DAM WAO!の機能・コンテンツの訴求により、DAM1台あたりの収益向上・カラオケ利用者のすそ野の拡大・歌唱回数の上を図る
- 安定的収益基盤の構築

エルダー市場

- エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE」の拡販と新機能の訴求で、健康寿命の延伸、介護施設職員の業務負担軽減に貢献
- 成長市場として、稼働台数の増加を図る

ナイト市場

- 中心地において、さらなるシェア向上を図る
- 旧機種からの入替えを推進

カラオケボックス市場

- LIVE DAM WAO!の拡販
- 旧機種からの入替えを推進

その他の市場

- スーパーマーケットなど異業種との協業により、「新たな歌う場」の創出



音楽ソフト事業

重点施策

- 新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築



カラオケ・飲食店舗事業

共通

- 一等地戦略をさらに推進、人口集積地への出店により収益力強化を図る

カラオケ店舗

- メーカー直営店として、設備とサービスの両面を充実させ、顧客満足度向上を図る
- アーティストやアニメ等とのコラボレーション企画によるライト層の集客を図る

飲食店舗

- 顧客のニーズを捉えた新たなブランドの開発に注力
- 主力業態である個室ダイニングのほか、カラオケやダーツなどのアミューズメントを含めた幅広い客層の開拓



その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

パーキング事業

- M&Aを含む新規施設開拓を進め、さらなる事業規模の成長
- 不採算施設の改善・整理を通じて収益力向上を図る

全社

- 3か所に分散していた本社を1か所へ集約したことにより、部門間のコミュニケーションをより活性化し、生産性の向上と新たなイノベーションの創出を図る

01 決算概要

02 2027年3月期の見通し



03 参考資料

トピックス



LIVE DAM WAO!新コンテンツ「推しカメラライブ」で推し活がもっと楽しくなる！

推しの映像だけ見て歌える **推しカメラライブ**



FRUITS ZIPPER **CANDY TUNE**

「推しカメラライブ」は、カラオケ歌唱中に背景映像で流れるアーティストのライブ映像を、特定のメンバー(推し)だけを追い続けた映像やステージ全体を映した映像に自由自在に切り替えて見ることができる新コンテンツです。まるで自分がカメラのスイッチングをしているかのように、曲の最初から最後まで見たいメンバーだけをずっと追い、推しのパフォーマンスを余すことなく楽しみながらカラオケを存分に堪能できます。

第1弾
「FRUITS ZIPPER」

第2弾
「CANDY TUNE」

さらに今後はダンスボーカルグループやロックバンドなど、さまざまなアーティストの楽曲展開も視野に入れ、より多様なニーズに応える幅広いラインアップを目指します。

当社は、今後もユーザーニーズに応えるため、魅力的な作品やアーティストとのコラボレーションを通じて、新たなカラオケ体験を提供していきます。

LIVEDAM WAO!

トピックス



ビッグエコーで多彩なコラボレーション企画を展開中！

SUPER EIGHT コラボルーム



モナキ コラボルーム



さだまさし 歌朱印めぐり



ビッグエコーをはじめとする当社カラオケ店舗では、アーティストやアニメ・ゲームなどのコンテンツと連携し、コラボルームやコラボドリンク、指定楽曲の歌唱キャンペーンなど、多彩なコラボレーション企画を展開しています。今後も顧客ニーズを敏感に捉えた魅力あるサービスを創出し、“推し”尽くしのカラオケ体験で、ファン同士の交流やコミュニティの活性化を後押しします。



本資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化などにより、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。